

昭和電工が20/12期業績予想を発表—格付への下押し圧力が強まる

以下は、昭和電工株式会社（証券コード：4004）の20/12期業績予想についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は12日、これまで未定としていた20/12期通期業績予想を発表した。同予想では、売上高は9,600億円（前期比5.9%増）、営業損益は300億円の赤字（前期は1,208億円の黒字）、最終損益は900億円の赤字（前期は731億円の黒字）を見込む。日立化成の連結化で同社の7～12月業績が加わるため売上高は小幅増収となるが、営業段階以下で赤字となり、最終損益は当社として過去最大の赤字幅となる見通し。採算悪化の主な要因は、日立化成の株式取得関連費用のほか、黒鉛電極の需要減退や市況低下に伴う棚卸資産の簿価切り下げ、石油化学におけるナフサ下落に伴う在庫受払差の悪化などである。大幅な最終赤字となるため、自己資本にも相応の悪影響が及ぶこととなる。
- (2) JCRでは20年4月の当社の日立化成買収に伴うクレジットモニターの解除にあたり、「A/ネガティブ」と公表した。この判断においては、コロナ禍などに伴う業績の悪化を考慮していたものの、今回、発表された業績予想は従前のJCR想定に比べ厳しいものとなった。株式取得関連費用の多くや黒鉛電極の簿価切り下げなどは一過性要因であり、これらが解消することなどで業績は持ち直しに向かうと想定される。ただ、事業環境の先行き不透明感は強く、今後の業績によっては日立化成の買収で悪化した財務構成の改善が遅れる可能性がある。現状、JCRでは格付への下押し圧力が強まっていると判断している。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

【参考】

発行体：昭和電工株式会社

長期発行体格付：A

見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル